



学校だより

横浜市立朝比奈小学校

令和2年5月13日

第2号



主体的に取り組む活動を目指して

校長 神田 敏之

学校再開が伸びてしまい、ご心配をされている方も多いことと思います。心配な点は遠慮なく学校へご連絡ください。子どもたちとは、校庭開放の機会に少しでも交流ができればよいと思っています。

私たち教職員も学校再開に向け準備を進めていますが、目の前に子どもたちがいない状況に戸惑い、考え方の転換を図りながら過ごしています。今までの常識が通用しない、新しい考え方を生み出していくということが求められ、今年度の学校の教育活動も工夫をしながら進めていきます。

学校再開後、7月までは学級づくりに重点を置いていきます。子どもたちの人間関係づくり、自らが主体的に取り組む学習の仕方の確認、安心して生活できる環境づくりなどを行います。特に、長い休校期間になったことで、表面にあらわれていない心や体調の不安がある子どもがいると考えられます。そのような子どもたちが安心して生き生きと活動できるように考えていきます。日常の当たり前のことを当たり前に行うということがスタートです。

また、運動会や5年生の体験学習は秋に延期とし、実施方法も見直しているところです。行事は、子どもたちが日ごろの学習や生活で培った力を発揮する大切な機会です。大人が主導して行事を経験させるということだけでは効果が薄くなります。どの部分で子どもたちの主体性を発揮できるかなど内容の精選も図りながら計画していきます。秋以降の他の行事も同様に見直しを図ります。

感染症拡大防止の方法として、ていねいな手洗いをすることが求められています。昨年度本校では、健康会議の取り組みで正しい手洗いの仕方を取り上げました。そのときに学んだことが生かされていくと思います。学校でも手洗いの声掛けだけでなく、時間も確保して実施します。特に給食前の時間には、時間をかけた手洗いと給食当番には手指のアルコール消毒を実施します。ご家庭でも免疫力を高めるために規則正しい生活を続けることや、体調がすぐれない場合は、無理せず登校させないことにご協力をお願いいたします。

このような年度初めだからこそ、子どもたちには状況を受け止め、他者の責任にするのではなく、今自分ができることに前向きに取り組むということを考えさせていきます。子どもたちのリーダーシップを育み、生き生きとした学校文化を築くことをねらいにする「リーダー・イン・ミー」の取組を進めていきます。